

## 野柳，北投温泉，台湾のジオパーク

<須藤 茂<sup>1)</sup>>

野柳は台湾の4つのジオパークの1つで、台北からバスで1時間ちょっとで行けます。不均質な砂岩が浸食されたことにより、表紙写真など、さまざまな名前が付けられた独特の景観ができ、多くの観光客が訪れています。本文参照。

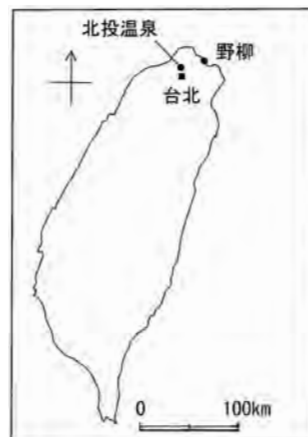


図1  
位置図.



写真1 女王頭。最も人気のある岩で、記念写真撮影の人の列が絶えません。女王とはクレオパトラのことだという解説もありますが、不明です。首の傷が気になります。



写真2 <sup>きのこ</sup> 蕈状岩群. 観光客の多くは、女王頭のあるこの蕈状岩群を見て行きます。



写真3 蕈状岩群などがある海食台. 赤い線より外に出ると書いてあります. そこまでなら、歩道から外れてもよさそうです.



写真5 豆腐岩.



写真4 海食崖の上から見た野柳の街. 新生代第三紀中新世の大寮層という砂岩層が20度近く南東に傾いているのがわかります.



写真6 <sup>しょうが</sup> 薑石.



写真7 蜂の巣岩(中央奥)周辺の様子。表面のでこぼこの成因やいかに。



写真8 火口地形のように見える穴。直径数十cmです。



写真9 カルデラの中の再生ドーム?



写真10 柔らかい砂岩部分に鉄が染みてできた文様。



写真11 壊れたときのこ岩。波浪にさらされ、壊れるのも自然現象の一過程です。観光客は、ジオパークでそのようなことを体感します。

台北市街地北部にある北投温泉は、ジオパーク大屯火山群の西部に位置します。ジオパークは陽明山国家公園の範囲とほぼ同じです。火山地形、噴気活動、温泉などが見ものです。温泉は、人間による開発のために変化します。本文参照。



写真12 北投温泉，地熱谷の湯だまり。手前（南東）の崖が醜く崩れています。



写真13 地熱谷の足湯“跡”。水位が下がり、流量も少なくなっています。



写真14 北投温泉東方の硫黄谷。温泉が造成され、分岐され、各施設に配湯されています。



写真15 硫黄谷東方の龍鳳谷。多くの観光客が訪れています。後方は大屯火山群の溶岩円頂丘の1つ紗帽山。



写真16 龍鳳谷の分湯施設。多くのパイプが入り組んでいます。部外者には、どの温泉水がどの施設に供給されているのか全くわかりません。